

先導的研究開発委員会 「食による生体恒常性維持の 指標となる未病マーカーの探索戦略」 公開シンポジウム

本委員会では、ヒトの持つ生体恒常性に着目し、その指標となる未病マーカー科学について、食のイノベーションをもたらすグローバルな新たな研究分野として議論してまいりました。本日のシンポジウムでは、「未病マーカー」の重要性をお伝えできればと思います。

【挨拶】

13:00 未病マーカーによる食のイノベーション

阿部啓子 委員長、東京大学名誉教授・特任教授
神奈川県立産業技術総合研究所「食品機能性評価」グループリーダー

【基調講演①】

13:10 国連・持続可能社会目標(SDGs)と食・健康のイノベーション

有本建男 政策研究大学院大学
科学技術イノベーション政策プログラム教授
科学技術振興機構 研究開発戦略センター
上席フェロー

13:40 健康・医療情報を活用した予防政策の実現
〜クオリティーデータの重要性〜 (仮)

江崎禎英 経済産業省 商務・サービス政策統括調整官

【マーカー研究の新展開】

14:10 認知症予防と未病マーカー

小林彰子 東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授

14:35 時間軸から考える未病マーカー

大池秀明 農研機構 食品研究部門 主任研究員

15:00 疾病と腸内細菌叢の関係から見る未病マーカー探索戦略

井上亮 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 講師

【基調講演②】

15:40 食の嗜好性と脳機能から考察する生活習慣病
未病マーカーの可能性

益崎裕章 琉球大学大学院 医学研究科 教授

【測定装置の新展開】

16:10 質量分析による生理活性分子の組織内イメージング

杉浦悠毅 慶應義塾大学 医学部 講師

16:40 光センシングによるホメオスタシス多視点評価
オンサイトシステム

数村公子 浜松ホトニクス(株) 中央研究所

17:05 脳・心血管疾患の発症ゼロへのチャレンジと
生体計測技術の進化

山下新吾 オムロンヘルスケア(株) 技術開発統轄部
要素技術開発部 開発 グループリーダー

【挨拶】

17:30 山野井昭雄 味の素社友

【開催日時】

2018年 7月 20日(金) 13:00~17:40

【会場】

東京大学農学部 弥生講堂一条ホール

【懇親会】 レストラン アフルボア

(参加費:4,000円 当日お支払いください)



主催：先導的研究開発委員会「食による生体恒常性維持の指標となる未病マーカーの探索戦略」

協賛：(公社)日本農芸化学会、(公社)日本生物工学会、(公社)日本栄養・食糧学会、
(公社)日本食品科学工学会、(一財)バイオインダストリー協会(予定)

対象：一般(企業の皆様、マスメディア、その他研究者)

以下URLのホームページへアクセスの上、ご登録ください。

https://www.jba.or.jp/jba/seminar/se_02/post_85.php

ご来場の際には、登録後に自動配信される登録確認メールを印刷したものををお持ちください。

なお、定員になり次第、登録を締め切らせていただきます。

懇親会に参加される方は、参加費を受付にてお支払いください。

お問合せ：(一財)バイオインダストリー協会内 先導的研究開発委員会

「食による生体恒常性維持の指標となる未病マーカーの探索戦略」事務局

秋元 健吾 TEL 03-5541-2731